

鍼灸マッサージボランティア活動の記録

(平成23年11月27日28日 宮城県牡鹿郡女川町)

報告者 四谷左門町鍼灸院 中野朋儀

女川町の仮設住宅は、29区で1,235人が生活している。

29区内、集会所及び談話室が設けられているところは半分に満たない。

震災前、女川町住民は約10,000人の住民登録がされていたが、震災後の住民登録は約8,000人となっている。住民票を移さないで女川町を離れた方も少なくない。震災で約800人の方がお亡くなりになった。



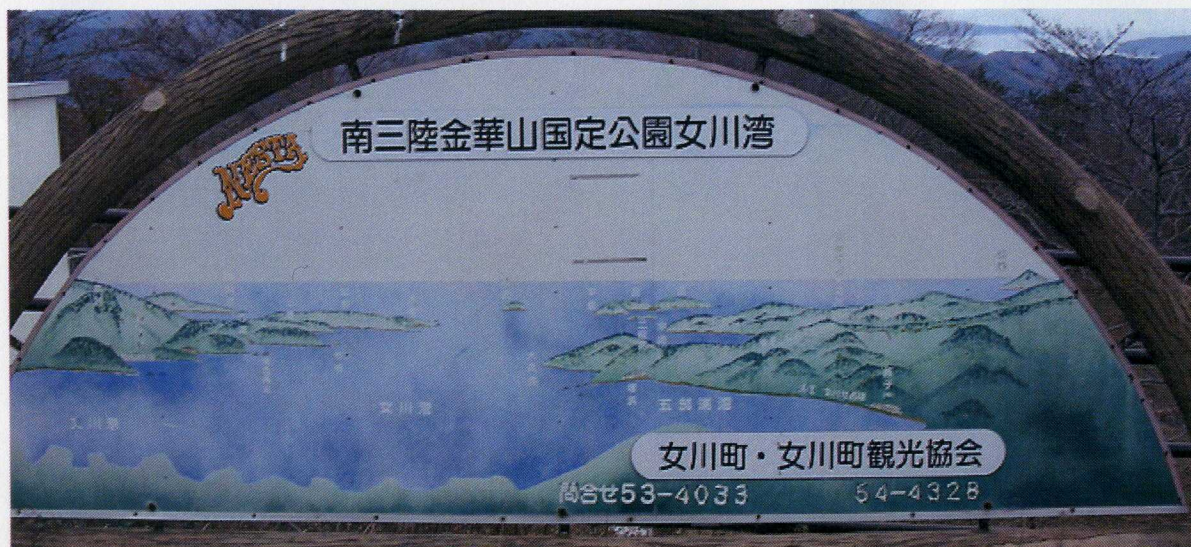
全国初の3階建て仮設住宅6棟計144戸が出来上がり、11月6日に入居が始まった。同じ敷地内(野球場)には2階建て仮設住宅も3棟計45戸あり、10月に完成して既に被災者が暮らしている。これにより宮城県での被災者向け仮設住宅の建設は終了し、女川町では11月9日に避難所が閉鎖された。



運動公園の紅葉

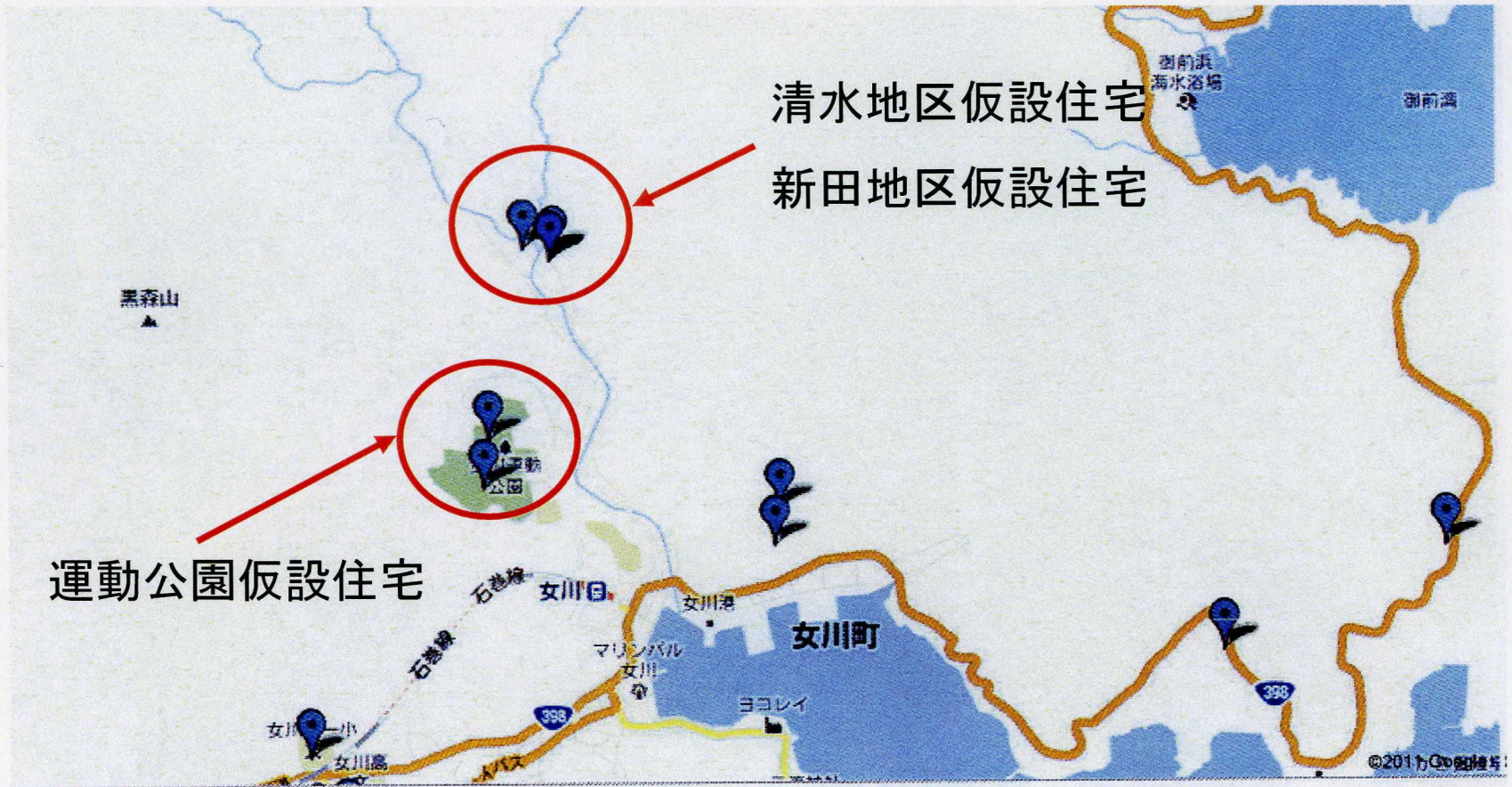
11月27日(日)

- ・活動場所:
多目的運動場仮設住宅集会所
- ・活動時間:9:30~16:30
- ・活動人数:4名
- ・施術者数:新患 12名 再診 29名



牡鹿(半島)コバルトラインからの女川湾の展望

女川町仮設住宅地 地図





海が見えない場所にある宮城県
女川町女川浜の清水地区は、
石投山(456メートル)の麓から
蛇行して女川湾に注ぐ女川に
沿って南北に伸びる山あいの集
落。女川湾からは500メートル
~2キロ離れ、海拔は5~10
メートルだ。津波は谷間に沿っ
て川と道路をさかのぼり、湾から
約2・1キロ離れた林の中にまで
達した。

宮城県応急仮設住宅女川町清水地区

9月21日夜、台風15号により女川町清水地区で仮設住宅が浸水被害を受け、住民が一時孤立していた。女川町は浸水被害の恐れが生じたため、3カ所の仮設住宅合わせて319世帯887人に避難指示や勧告を出していた。

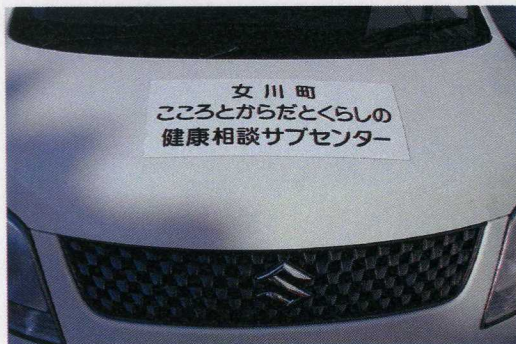


第1仮設所103戸



第2仮設所41戸

清水地区① 応急仮設住宅案内図



仮設住宅集会所

仮設住宅集会場に月～金曜日まで、「ころとからだとくらしとの健康相談サブセンター」が設置されている。

仮設住宅集会場でのイベントを企画したり、コミュニティを広めたりすることで、高齢者が孤立しないように住民の方々との繋がりを広めている。



集会所内に子供たちの応援メッセージが飾っており、アトリエ5の「虹色の折り鶴」も飾ってもらった。



11月28日(月)

- ・最高気温15℃と季節はずれの暖かさだった。
- ・活動場所:清水地区仮設住宅集会所
- ・活動時間:9:30~16:30
- ・活動人数:2名
- ・施術者数:新患 12名 再診 13名